

シラバス（授業内容）

美容師科 2年



学校法人 中村学園 厚生労働大臣指定

ジェイヘアメイク美容専門学校

2023年度入学生（8期生） シラバス（授業計画）

課目名	衛生管理					必修・選択の別	必修
実施期	1年	前期	30時間	後期	30時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とす	90時間
	2年	前期	20時間	後期	10時間		
担当講師	水野雅城・関谷葵						
	実務経験	有	美容師免許取得および実務経験を有する他、美容室での実例を元に衛生管理について指導することができる。				
授業概要	衛生管理の3单元において、各内容が何を指して何を求めているのかを、美容師法に沿って理解させる。また、日常の生活や一般常識から見て学習することが役に立つことを理解させる。					授業形式	講義
到達目標	国家試験課目である衛生管理について、全員を合格レベルに到達させる。						
教科書 教材	①衛生管理（日本理容美容教育センター）						
授業計画 コマ数	2年 前期 / 後期 授業内容						
61-62	公衆衛生復習						
63-64	公衆衛生復習						
65-66	環境衛生復習						
67-68	環境衛生復習						
69-70	感染症復習						
71-72	感染症復習						
73-74	衛生管理技術（消毒法）復習						
75-76	衛生管理技術（消毒法）復習						
77-78	衛生管理技術（消毒法）復習 ・ 定期試験対策						
79-80	定期試験 ・ 試験解説						
81-82	国家試験対策						
83-84	国家試験対策						
85-86	国家試験対策						
87-88	国家試験対策						
89-90	定期試験 ・ 試験解説						
成績評価 方法	・ 出席率		定期試験	○		実施する	
	・ 定期試験や小テスト					実施しない	
	・ 平常点（提出物・授業参加意欲など）						
成績評価 基準	S評価	出席率100%・定期試験や小テスト100点・平常点 特に優れている					
	A評価	出席率99～95%以上・定期試験や小テスト99～90点以上・平常点 優れている					
	B評価	出席率94～90%以上・定期試験や小テスト89～80点以上・平常点 普通					
	C評価	出席率89～67%以上・定期試験や小テスト79～60点以上・平常点 やや劣る					
	D評価	C評価の基準を満たしていない場合					

2023年度入学生（8期生） シラバス（授業計画）

課目名	保健					必修・選択の別	必修
実施期	1年	前期	30時間	後期	30時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とす	90時間
	2年	前期	20時間	後期	10時間		
担当講師	永田浩美・水野雅城・伊藤玲茄						
	実務経験	—	薬剤師免許を有し、保健について指導することができる。または美容師免許取得および実務経験を有する他、美容室での実例を元に保健について指導することが				
授業概要	皮膚や皮膚付属器官の働きと、加齢や疾病罹患時の皮膚や毛の変化を学ぶ。美容所が皮膚疾患の感染源とならないよう、皮膚や毛髪 of 疾患について知見を深める。国家試験の得点源となるよう問題形式の授業をしていく。					授業形式	講義
到達目標	国家試験課目である保健について、全員を合格レベルに到達させる。						
教科書 教材	①保健（日本理容美容教育センター） ②オリジナルスライド ③オリジナルプリント ④人体模型・皮膚模型・皮膚疾患模型						
授業計画 コマ数	2年 前期 後期 授業内容						
61-62	人体の構造及び機能復習						
63-64	人体の構造及び機能復習						
65-66	人体の構造及び機能復習						
67-68	人体の構造及び機能復習						
69-70	皮膚科学復習						
71-72	皮膚科学復習						
73-74	皮膚科学復習						
75-76	皮膚科学復習						
77-78	皮膚科学復習						
79-80	定期試験 ・ 試験解説						
81-82	国家試験対策						
83-84	国家試験対策						
85-86	国家試験対策						
87-88	国家試験対策						
89-90	定期試験 ・ 試験解説						
成績評価 方法	・ 出席率		定期試験	○	実施する		
	・ 定期試験や小テスト				実施しない		
	・ 平常点（提出物・授業参加意欲など）						
成績評価 基準	S評価	出席率100%・定期試験や小テスト100点・平常点 特に優れている					
	A評価	出席率99～95%以上・定期試験や小テスト99～90点以上・平常点 優れている					
	B評価	出席率94～90%以上・定期試験や小テスト89～80点以上・平常点 普通					
	C評価	出席率89～67%以上・定期試験や小テスト79～60点以上・平常点 やや劣る					
	D評価	C評価の基準を満たしていない場合					

2023年度入学生（8期生） シラバス（授業計画）

課目名	香粧品化学					必修・選択の別	必修
実施期	1年	前期	15時間	後期	15時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とす	60時間
	2年	前期	20時間	後期	10時間		
担当講師	橋本紫織・水野雅城・木全雄一・伊藤玲茄						
	実務経験	-	中学理科教員免許を有し香粧品化学について指導することができる。または美容師免許取得後実務経験を有し実例を元に香粧品化学の指導をすることができる。				
授業概要	美容師の実務と関係の深いパーマメントウェーブ溶剤やヘアカラー剤、シャンプー剤、トリートメント剤等について、香粧品化学の観点から内容成分やその作用について理解し、安全に薬剤を扱えるような知識を身につける。					授業形式	講義
到達目標	国家試験課目である香粧品化学について、全員を合格レベルに到達させる。						
教科書教材	①香粧品化学（日本理容美容教育センター）②オリジナルプリント						
授業計画 コマ数	1年 前期 後期 授業内容						
1・2	香粧品の定義 ・ 物質の構成						
3・4	香粧品の規制 ・ 色材						
5・6	色材、香粧品の規制 ・ 小テスト、解説						
7・8	香粧品の表示、広告 ・ 実験 溶解度の違いについて						
9・10	溶解度 ・ 香粧品と安定性						
11・12	皮膚と水 ・ 頭皮や毛髪、爪の性状						
13・14・15	定期試験対策 ・ 定期試験 ・ 試験解説						
16・17	油性原料 ・ 高級アルコール						
18・19	小テスト、解説						
20・21	実験 化粧水の製造						
22・23	プレゼン 化粧水について						
24・25	界面活性剤						
26・27	色剤、香料、その他の配合成分						
28・29・30	定期試験対策 ・ 定期試験 ・ 試験解説						
成績評価 方法	・ 出席率		定期試験	○		実施する	
	・ 定期試験や小テスト					実施しない	
	・ 平常点（提出物・授業参加意欲など）						
成績評価 基準	S評価	出席率100%・定期試験や小テスト100点・平常点 特に優れている					
	A評価	出席率99～95%以上・定期試験や小テスト99～90点以上・平常点 優れている					
	B評価	出席率94～90%以上・定期試験や小テスト89～80点以上・平常点 普通					
	C評価	出席率89～67%以上・定期試験や小テスト79～60点以上・平常点 やや劣る					
	D評価	C評価の基準を満たしていない場合					

2023年度入学生（8期生） シラバス（授業計画）

課目名	文化論					必修・選択の別	必修
実施期	1年	前期	15時間	後期	15時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とす	60時間
	2年	前期	20時間	後期	10時間		
担当講師	関谷葵・伊藤玲茄・三輪洋子						
	実務経験	有	美容師としての実務経験を生かし、美容文化の移り変わりを学ばせるだけでなく、各時代背景から、現代ヘアスタイルへの流行の移ろいなどを交えて伝えることができる。				
授業概要	①デザインを生みだすうえで、ヘアメイク、ファッションの歴史を知る。 ②美容師としての地位を確立するまでの歴史を理解する。 ③礼装の種類を理解する。					授業形式	講義
到達目標	国家試験課目である文化論について、全員を合格レベルに到達させる。						
教科書 教材	①美容文化論（日本理容美容教育センター） ②オリジナルプリント						
授業計画 コマ数	2年 前期 / 後期 授業内容						
31・32	ファッション文化史日本編：1945年～1950年代						
33・34	ファッション文化史日本編：1960年代～1970年代						
35・36	ファッション文化史日本編：1980年代～1990年代 2000年以降						
37・38	ファッション文化史日本編 復習						
39・40	ファッション文化史西洋編：古代エジプト ギリシャ・ローマ ゲルマン						
41・42	ファッション文化史西洋編：中性ヨーロッパ 16世紀 17世紀 18世紀 18世紀末～19世紀初め 19世紀						
43・44	ファッション文化史西洋編：1910年代～1920年代 1930年代～1940年代前半 1970年代 1980年代 1990年代						
45・46	ファッション文化史日本編：明治・大正・昭和20年まで 復習						
47・48	ファッション文化史日本編：1945年～2000年 復習						
49・50	定期試験 ・ 試験解説						
51・52	国家試験対策						
53・54	国家試験対策						
55・56	国家試験対策						
57・58	国家試験対策						
59・60	定期試験 ・ 試験解説						
成績評価 方法	・出席率		定期試験	○		実施する	
	・定期試験や小テスト					実施しない	
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）						
成績評価 基準	S評価	出席率100%・定期試験や小テスト100点・平常点 特に優れている					
	A評価	出席率99～95%以上・定期試験や小テスト99～90点以上・平常点 優れている					
	B評価	出席率94～90%以上・定期試験や小テスト89～80点以上・平常点 普通					
	C評価	出席率89～87%以上・定期試験や小テスト79～60点以上・平常点 やや劣る					
	D評価	C評価の基準を満たしていない場合					

2023年度入学生（8期生） シラバス（授業計画）

課目名	美容技術理論					必修・選択の別	必修
実施期	1年	前期	30時間	後期	30時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とす	150時間
	2年	前期	45時間	後期	45時間		
担当講師	水野雅城・関谷葵・東岸尚徳・木全雄一・伊藤玲茄・三輪洋子						
	実務経験	有	美容師としての実務経験を活かし、技術を行う上で理論がどのように作用するのかを伝えると共に、理論を深めることで間接的に技術向上を図ることができる。				
授業概要	美容技術理論を学ぶことで美容技術の習得を促し、また技術の習得をもってさらなる美容技術理論の理解を図ることができるよう、実習時やサロン技術の事例なども踏まえて理解度を高めていく。					授業形式	講義
到達目標	国家試験課目である美容技術理論について、全員を合格レベルに到達させる。						
教科書 教材	①美容技術理論1・2（日本理容美容教育センター）②オリジナルプリント						
授業計画 コマ数	2年 前期 後期 授業内容						
61-65	国家試験対策						
66-70	国家試験対策						
71-75	国家試験対策						
76-80	国家試験対策						
81-85	国家試験対策						
86-90	国家試験対策						
91-95	国家試験対策						
96-100	国家試験対策						
101-102	国家試験対策						
103-105	定期試験対策 ・ 定期試験 ・ 試験解説						
106-110	国家試験対策						
111-115	国家試験対策						
116-120	国家試験対策						
121-125	国家試験対策						
126-130	国家試験対策						
131-135	国家試験対策						
136-140	国家試験対策						
141-145	国家試験対策						
146-147	国家試験対策						
148-150	定期試験対策 ・ 定期試験 ・ 試験解説						
成績評価 方法	・ 出席率		定期試験	○	実施する		
	・ 定期試験や小テスト				実施しない		
	・ 平常点（提出物・授業参加意欲など）						
成績評価 基準	S評価	出席率100%・定期試験や小テスト100点・平常点 特に優れている					
	A評価	出席率99～95%以上・定期試験や小テスト99～90点以上・平常点 優れている					
	B評価	出席率94～90%以上・定期試験や小テスト89～80点以上・平常点 普通					
	C評価	出席率89～67%以上・定期試験や小テスト79～60点以上・平常点 やや劣る					
	D評価	C評価の基準を満たしていない場合					

2023年度入学生（8期生） シラバス（授業計画）

課目名	美容実習					必修・選択の別	必修
実施期	1年	前期	150時間	後期	120時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とす	900時間
	2年	前期	235時間	後期	395時間		
担当講師	水野雅城・関谷葵・東岸尚徳・木全雄一・伊藤玲茄・三輪洋子						
	実務経験	有	国家試験対策に加え、各講師の美容師実務経験を生かし現場に即した技術指導が行うことで、国家試験課題の技術とお客様へ施す技術とのずれを補いながら指導していく。				
授業概要	国家試験実技課題（ワインディング・オールウェーブセッティング・ヘアカットイング）について、合格レベルになるようトレーニングを重ねると共に、就職後の一技術としてお客様へ施術する際の注意点等も同時に指導していく。					授業形式	実習
到達目標	美容師国家試験合格を目標に技術の向上をはかると共に、美容技術理論に基づいた指導を行い、美容師としての基本的な知識を身に付け、現場で活躍できる美容師の育成を目指す。						
教科書 教材	①美容技術理論1（日本理容美容教育センター） ②美容技術理論2（日本理容美容教育センター）						
授業計画 コマ数	1年 前期 / 後期 授業内容						
1-25	美容実習導入・ワインディング（国家試験課題）（ブロッキング、センターブロック）						
26-50	ワインディング（ブロッキング、センター、フロント及び右バックサイドブロック）						
51-75	ワインディング（ブロッキング、センター、フロント、右バックサイド及び右サイド）						
76-100	ワインディング（ブロッキング、センター、フロント、左バックサイド及び左サイド）						
101-125	ワインディング（ブロッキング及び全頭）						
126-149	ワインディング（ブロッキング及び全頭）						
150	定期試験						
151-175	ワインディング（ブロッキング及び全頭タイム取り）						
176-200	ワインディング ・ オールウェーブセッティング（フィンガーウェーブ）						
201-225	ワインディング ・ オールウェーブセッティング（7段目の構成）						
226-250	ワインディング ・ オールウェーブセッティング（1～3段目の構成）						
251-269	ワインディング ・ オールウェーブセッティング（4～6段目の構成）						
270	定期試験						
成績評価 方法	・出席率		定期試験	○		実施する	
	・チェックテストや実技試験					実施しない	
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）						
成績評価 基準	S評価	出席率100%・実技試験評価 特に優れている（100～90点）・平常点 特に優れている					
	A評価	出席率99～95%以上・実技試験評価 優れている（89～80点以上）・平常点 優れている					
	B評価	出席率94～90%以上・実技試験評価 普通（79～70点以上）・平常点 普通					
	C評価	出席率89～67%以上・実技試験評価 やや劣る（69～60点以上）・平常点 やや劣る					
	D評価	C評価の基準を満たしていない場合					

2023年度入学生（8期生） シラバス（授業計画）

課目名	専攻（ヘアメイク）					必修・選択の別	選択
実施期	1年	前期	-	後期	60時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とす	90時間
	2年	前期	30時間	後期	-		
担当講師	水野雅城・関谷葵・東岸尚徳・木全雄一・伊藤玲茄・三輪洋子・足立洋子・露木里枝・杉山智明・森田茉凜・福田希央						
	実務経験	有	ビューティアドバイザーとしての経験を活かし、美容部員の育成やメイク資格取得へ向けた指導を行うことができる。				
授業概要	まつ毛エクステンション：適切な道具の取り扱い・衛生管理・応用技術を習得する。 メイク：クレンジングからフルメイクの手順と技術を身につけ、メイクアップ技術をサロンで提供できるよう習得する。					授業形式	実習
到達目標	①実践的なまつ毛エクステンション技術の習得を目指す。 ②CAAメイク検定1級合格を目指す。						
教科書 教材	①美容技術理論（日本理容美容教育センター） ②各種検定マニュアル ③CAA1級テキスト						
授業計画 コマ数	2年 前期 後期 授業内容						
61-62	追加教材配布、CAA1級メイク検定対策及び、教材確認・ラベルシール貼り/まつ毛エクステンション実践トレーニング						
63-64	CAA1級メイク検定対策/まつ毛エクステンション実践トレーニング						
65-66	CAA1級メイク検定対策/まつ毛エクステンション実践トレーニング						
67-68	CAA1級メイク検定対策/まつ毛エクステンション実践トレーニング						
69-70	CAA1級メイク検定対策/まつ毛エクステンション実践トレーニング						
71-72	CAA1級メイク検定対策/まつ毛エクステンション実践トレーニング						
73-74	CAA1級メイク検定対策/まつ毛エクステンション実践トレーニング						
75-76	CAA1級メイク検定対策/まつ毛エクステンション実践トレーニング						
77-78	CAA1級メイク検定対策/まつ毛エクステンション実践トレーニング						
79-80	CAA1級メイク検定対策/まつ毛エクステンション実践トレーニング						
81-82	CAA1級メイク検定対策/まつ毛エクステンション実践トレーニング						
83-84	CAA1級メイク検定対策/まつ毛エクステンション実践トレーニング						
85-86	CAA1級メイク検定対策/まつ毛エクステンション実践トレーニング						
87-88	CAA1級メイク検定対策/まつ毛エクステンション実践トレーニング						
89-90	CAA1級メイク検定および講評/定期試験および講評						
成績評価 方法	・出席率		定期試験	○		実施する	
	・検定試験や小テスト					実施しない	
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）						
成績評価 基準	S評価	出席率95%以上・検定試験や小テスト95点以上・平常点 優					
	A評価	出席率90%以上・検定試験や小テスト90点以上・平常点 良 以上					
	B評価	出席率80%以上・検定試験や小テスト80点以上・平常点 可 以上					
	C評価	出席率70%以上・検定試験や小テスト70点以上・平常点 可 以上					
	D評価	C評価の基準を満たしていない場合					

2023年度入学生（8期生） シラバス（授業計画）

課目名	サロンワーク					必修・選択の別	選択	
実施期	1年	前期	60時間	後期	60時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とす	180時間	
	2年	前期	45時間	後期	15時間			
担当講師	水野雅城・関谷葵・東岸尚徳・木全雄一・伊藤玲茄・三輪洋子							
	実務経験	有	美容師経験をもとに美容師のアシスタントとして求められる基礎的な技術と知識や接客・接遇のポイントを現場のニーズに沿って指導することができる。					
授業概要	1年前期	サイドシャンプー、バックシャンプー、ヘッドスパ、接客（受付、誘導等）					授業形式	実習
	1年後期	ベーシックカット、ヘッドスパ、ヘアカラー						
	2年前後期	カット、デザインカラー、デザインパーマ、ヘッドスパ等						
到達目標	在学時から美容師のアシスタント1～2年目としての意識、技術を身につけさせ、卒業・就職後にはアシスタント3年目として即戦力になれるよう能力向上を目指す。							
教科書 教材	①オリジナルプリント ②各種薬剤							
授業計画 コマ数	2年 前期 / 後期 授業内容							
121 - 123	ベーシックカット							
124 - 126	ベーシックカット、カラーリング							
127 - 129	ベーシックカット、カラーリング							
130 - 132	ベーシックカット、実技試験							
133 - 135	カラーリング							
136 - 138	サイドシャンプー、アシスタント実習							
139 - 141	サイドシャンプー、アシスタント実習							
142 - 144	サイドシャンプー、アシスタント実習							
145 - 147	ベーシックカット、カラーリング							
148 - 150	ベーシックカット、カラーリング							
151 - 153	ベーシックカット、カラーリング							
154 - 156	ベーシックカット、カラーリング							
157 - 159	ベーシックカット、カラーリング							
160 - 162	ベーシックカット、カラーリング							
163 - 165	定期試験 ベーシックカット、カラーリング							
166 - 168	バックシャンプー、アシスタント実習							
169 - 171	バックシャンプー、アシスタント実習							
172 - 174	バックシャンプー、アシスタント実習							
175 - 177	バックシャンプー、アシスタント実習							
178 - 180	定期試験 バックシャンプー、アシスタント実習							
成績評価 方法	・出席率		定期試験	○		実施する		
	・チェックテストや実技試験					実施しない		
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）							
成績評価 基準	S評価	出席率100%	・実技試験評価 特に優れている（90点以上）		・平常点 特に優れている			
	A評価	出席率95%以上	・実技試験評価 優れている（80点以上）		・平常点 優れている以上			
	B評価	出席率90%以上	・実技試験評価 普通（70点以上）		・平常点 普通以上			
	C評価	出席率67%以上	・実技試験評価 やや劣る（60点以上）		・平常点 やや劣る以上			
	D評価	C評価の基準を満たしていない場合						

2023年度入学生（8期生） シラバス（授業計画）

課目名	トータルビューティ					必修・選択の別	選択
実施期	1年	前期	60時間	後期	30時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とする	120時間
	2年	前期	30時間	後期	—		
担当講師	安齋孝子・足立洋子・露木里枝・水野雅城・関谷葵・東岸尚徳・木全雄一・伊藤玲茄・三輪洋子						
	実務経験	有	お客様の要望に応じてきた美容師経験から、サロンでのニーズに即したヘアスタイルの講習を行い、パーティヘアからフォーマルヘア、新日本髪までを習得させ、トータルビューティの観点からヘア・まつ毛・アロマ・ネイル等を通してお客さまを満足させる技術と知識を身につけさせる。				
授業概要	ヘアアレンジ：ヘアアレンジを中心に、メイク、衣装などをトータルにプロデュースする。 ネイル：基礎技術であるケア、エナメル塗布、除去の一連の流れを体験する。					授業形式	演習
到達目標	ヘアアレンジ：ヘアアレンジを中心としたトータルビューティプロデュースを学ぶ。 ネイル：ネイルケア、エナメル塗布、除去の実践を通してネイルの基礎技術への理解を深め、作品制作を行う。						
教科書・教材	①美容技術理論2（日本理容美容教育センター）②オリジナルプリント						
授業計画 コマ数	2年 前期 授業内容						
91 - 93	ヘアメイク作品づくり						
94 - 96	ヘアメイク作品づくり						
97 - 99	ヘアメイク作品づくり						
100 - 102	ヘアメイク作品づくり						
103 - 105	ヘアメイク作品づくり						
106 - 108	ネイル教材配布、ネイルケア						
109 - 111	ネイルケア、ネイルエナメル						
112 - 114	ネイル作品づくり						
115 - 117	ネイル作品づくり						
118 - 120	定期試験						
成績評価 方法	・出席率		定期試験	○		実施する	
	・作品評価や小テスト					実施しない	
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）						
成績評価 基準	S評価	出席率95%以上・作品評価や小テスト95点以上・平常点 優					
	A評価	出席率90%以上・作品評価や小テスト90点以上・平常点 良 以上					
	B評価	出席率80%以上・作品評価や小テスト80点以上・平常点 可 以上					
	C評価	出席率70%以上・作品評価や小テスト70点以上・平常点 可 以上					
	D評価	C評価の基準を満たしていない場合					

2023年度入学生（8期生） シラバス（授業計画）

課目名	I T					必修・選択の別	選択
実施期	1年	前期	-	後期	-	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とす	30時間
	2年	前期	30時間	後期	-		
担当講師	田中みゆき						
	実務経験	-	職業訓練指導員として、基本的なコンピューター操作から、資料作成の指導等を行うことができる。				
授業概要	パソコンが使えるだけでなく、パソコンを活用できる能力が必要とされている現代において、Word、Excelの基本と応用的な機能を学習し、プレゼンテーション資料の作成とインターネット利用のルールやマナーについて学ぶ。					授業形式	演習
到達目標	インターネット利用のルールとマナーを理解する、Powerpointの基本操作を理解する。						
教科書 教材	Officeソフトをもとにしたオリジナルプリント						
授業計画 コマ数	2年 前期 授業内容						
1-3	パソコンの起動と終了、Windowsの基本操作、アプリケーション起動、キーボード練習、Microsoft Edge						
4-6	Word（起動と画面構成、文字入力、文章入力と編集、ページ設定と印刷）						
7-9	Word（ビジネス文章の入力、編集、フォントグループの設定、段落グループの設定）、カバーレター作成						
10-12	Word（ワードアート、オンライン画像の挿入、図の挿入、図形操作）						
13-15	P検テスト、Word（表の挿入と編集、ページ罫線、段落罫線、チラシの作成）						
16-18	iPad（基本操作、メモアプリ、Pagesの活用）						
19-21	iPad 動画編集（iMovie・Clipsの活用）						
22-24	iPad（Keynoteで基本操作からプレゼンの作成まで）						
25-27	iPad（課題提出：プレゼン）						
28-30	iPad（課題提出：動画作成）						
成績評価 方法	・出席率		定期試験	○	実施する		
	・小テスト				実施しない		
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）						
成績評価 基準	S評価	出席率100%・定期試験や小テスト100点・平常点 特に優れている					
	A評価	出席率99~95%以上・定期試験や小テスト99~90点以上・平常点 優れている					
	B評価	出席率94~90%以上・定期試験や小テスト89~80点以上・平常点 普通					
	C評価	出席率89~67%以上・定期試験や小テスト79~60点以上・平常点 やや劣る					
	D評価	C評価の基準を満たしていない場合					